



基本戦略Ⅰ 住みたいまち

1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

八代市登録防災士（やつしろソナエーター）制度

八代市内に居住又は勤務する防災士資格保持者の中で、地域の防災活動に積極的に取り組む意思のある方を「八代市登録防災士（やつしろソナエーター）」として認定し、地域における防災力向上と災害発生時の共助に寄与していただくことを目的とする。

【具体的な取組み】

平常時は、本市の防災情報配信システムの普及活動やマイタイムラインの作成支援、地区防災訓練等の補助などを行う。

災害時には、要支援者等への避難の呼び掛けや避難所運営の補助を行う。

▶登録者数：58人（令和3年12月11日現在）



認定式(令和3年7月21日)

2 全ての人が利便性を享受できるデジタル化の推進

マイナンバーカードの普及促進

交付窓口の強化を図り、窓口だけでなく郵送による交付や出前講座・出張申請を行い、市民が申請しやすい環境の整備。

【具体例】

①交付窓口の強化

会計年度任用職員の増員(4名→12名)や、マイナンバーカード専用の窓口の設置及びマイナンバーカード管理システムの導入を図り、事務処理能力の向上や待ち時間短縮を図る。

②郵送による交付及び出前講座・出張申請

商業施設や公的機関へ職員が出向き、一度も市役所に来庁することなく、郵送での交付を行う。

③申請しやすい環境の整備

イオン八代店に「マイナンバーカード受付センター」を設置し、無料の写真撮影サービスや夜間・日曜日の開設により市民が気軽に申請できる場を提供する。また、令和4年度には本庁でも同様のサービスを提供する予定。



マイナンバーカード専用窓口
(11号会議室)



基本戦略 I 住みたいまち

3 地域資源を活かした多様な交流の実現

市庁舎への多言語通訳システム導入

各種手続きや相談等で来庁された外国人市民と本市職員が円滑にコミュニケーションをとることができるよう、多言語に対応した通訳システムを市庁舎に導入。

タブレットPCによる映像通訳と電話による音声通訳が利用可能。タブレットPCは本庁、各支所、保健センターに配備。

■導入日 2021年10月1日より運用開始

■対応言語 20言語（日本語含む）

■通訳対応時間 午前9時～午後5時

※災害発生など緊急時は、上記時間に限らず対応可能。

【タブレットPCによる映像通訳】

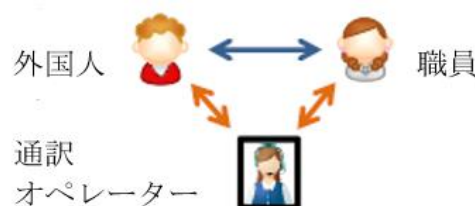
<映像通訳イメージ>

専用のアプリケーションを起動し、対応言語を選んで通訳オペレーターを呼び出し、本市職員と外国人来庁者との3者間で顔を見ながらテレビ電話でやりとりを行う。

【電話による音声通訳】

専用ダイヤルで通訳オペレーターを呼び出し、本市職員と外国人来庁者は電話機のスピーカー機能を使用し、3者間でやりとりを行う。

コミュニティセンター等の施設からも利用可能。



<映像通訳イメージ>

「ふるさと納税」事業の推進

○「ふるさと納税」事業の推進

①登録事業所を増やす。②登録商品の品目を増やす。③有効で効果的な情報発信を行う。④魅力ある商品を登録する。⑤生産者の声を反映する。⑥コラボ商品開発

○ふるさと納税の用途を明確にした寄附しやすい環境整備

○ふるさと納税サイト登録数を増やす

○ランキングに入る商品を確保・PR（有料広告あり）しながら他の商品との相乗効果を図る。

○SDGs的概念のフードロス削減の取り入れ

※訳アリ返礼品の活用

○【日本版クラウドファンディング】

※具体的な用途を先に決めた事業に対して、目標額を設定しクラウドファンディングにより財源の確保、事業を推進し市民サービスの向上を図る。



道の駅東陽 野菜セット定期便
(顧客のニーズを反映した新商品開発)



基本戦略Ⅱ 働きたいまち

1 挑戦する人と企業を応援するまちづくり

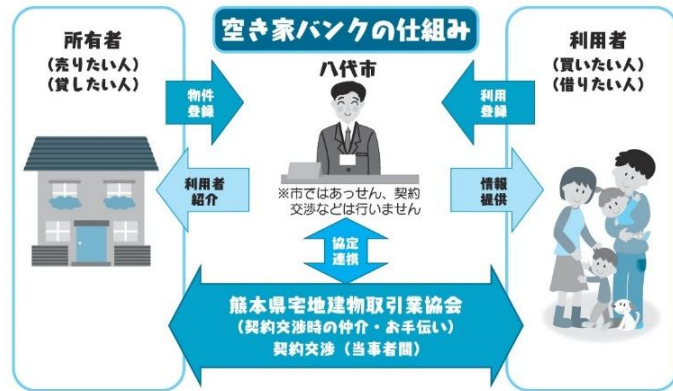
空き家バンク事業

空き家バンクは、市内の空き家の有効活用と移住定住（Uターン）を目的に、空き家所有者から登録があった物件を必要な人に紹介する制度。

物件の登録申し込み後に現地調査などを行い、登録の可否を判断し登録します。登録後、利用登録者が売買または賃貸することとしており、登録は無料。

【空き家バンク活用促進事業補助金】

物件登録者と利用登録者が売買契約か賃貸契約を締結した物件は補助金を活用。



2 稼げる農林水産業の推進

担い手育成研修事業

令和2年11月に八代農業高校との間で締結した連携協力に関する包括協定に基づき、「八代農業塾」を実施。

実施主体：八代市担い手育成総合支援協議会
塾長：市長
副長：八代農業高等学校長
参加人数：30名
(高校生・卒業生22名、一般8名)

【主な講座内容】

JAの役割、経営計画の作成、農業と気象、集落営農、スマホ活用、農作物の流通、税務制度、フードバレー、六次産業化、山村活性化（現地視察）、スマート農業（実演）



講座状況



基本戦略Ⅱ 働きたいまち

2 稼げる農林水産業の推進

商流拠点整備事業

地域コミュニティの中心である物産館、道の駅等に新たな販路拡大拠点としての機能を構築し、地域を牽引する事業者の育成を行う。

(1) 海外の商談会等出展サポート

市が主催又は出展する海外の商談会等に参加する事業者をサポート。

(2) 輸出に関する実務業務支援。

実務業務支援：成分分析、検疫、ラベル製作、通関、契約等業務など



3 南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進

みなとオアシス八代 登録

「みなとオアシス」とは、海浜・旅客ターミナル・広場などみなとの施設やスペースを活用して住民参加型の継続的な地域振興に係わる取り組みが行われる、地域交流拠点施設及び地区のことで、みなと・海岸を活用して地域内外の人が交流することができる“にぎわい交流拠点”をつくり出すもの。

この度、令和3年7月31日に、くまモンポート八代を核とし「みなとオアシス八代」として登録を受けた。

10月にはみなとオアシス八代絵画コンクールを開催するなど、今後もイベント等を実施し、「みなとオアシス」を活用した、みなとの賑わいづくりに努めていく。



「みなとオアシス八代」登録証交付式
(登録：令和3年7月31日)



基本戦略Ⅲ 育てたいまち

1 次代を担う子供の育成

オンライン学習の実施等による学びの保障の実現

災害や感染症等で学校が臨時休業になった場合でも子供の学びを止めないよう、学校と家庭を結んだオンライン授業や家庭学習に取り組む。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による臨時休業に備えて、オンラインによる学習支援ができる体制づくりに取り組んだ。ICT授業サポーターの支援を受け、ビデオ会議システム等の活用に関する教職員研修、児童生徒のビデオ会議システムの操作練習等を実施した。各学校において、学校と家庭をオンラインで接続しての学習支援が試行され、臨時休業等でも学びを保障する体制が整った。



オンラインによる学習支援

ICT授業サポート事業

ICT機器の効果的な活用方法を教職員が習得することを通して、教職員がICT機器を活用した学習指導の工夫改善を行い児童生徒の学習意欲を喚起し、学習意欲の向上を図る。

そのために、ICT授業サポーターによる小・中・特別支援学校への巡回訪問支援を行う。

令和3年度12月現在 ICT授業サポーター10名配置



授業の準備・打合せ

2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり

こどもプラザ事業

常設のひろばを開設し、子育て家庭の親とその子ども（概ね3歳未満の児童及び保護者）が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流を図ることや、育児相談などを行う場を身近な地域に設置することにより、子育て中の親子の子育てへの負担感の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、地域の子育て支援機能の充実を図ることを目的とする。

【事業内容】

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施



こどもプラザわくわく
(イオン八代ショッピングセンター2階)



基本戦略Ⅲ 育てたいまち

3 仕事と家庭を両立しながら楽しく子育てできるまちづくり

公立保育所運営事業・私立保育所保育事業

ICTを活用した業務システムの公立保育園への導入や私立保育所への導入支援を行う。
これにより、子どもの登降園管理の自動化や、園児台帳、保育指導計画、保育日誌等の資料の作成支援など、保育士の事務負担の軽減に取り組み、保育士が保育に専念できる環境を整備し、保育の質の向上につなげるとともに、保護者と保育施設間の双方向通信が可能となり、保護者がいつでも、どこでも、連絡や配信された情報の確認が可能となるなど、保護者にとって利便性の高い保育環境づくりを推進する。

システム概要

園児情報管理

- ・園児台帳、保護者情報、健康状態、保育料情報などをデータ化して一元管理できる。
- ・園内での情報の共有が図れる。

保護者連絡

- ・欠席などを保護者が、アプリで連絡できる。
- ・園は電話対応することなく連絡を受けることができ、リアルタイムで職員間で共有できる。

日誌等帳票作成

- ・園児台帳や指導計画等の他の帳票と連動した日誌・連絡帳が作成できる。
- ・各種報告書等を作成できる。

保育指導案作成

- ・日誌や発達経過記録・月案等がデータ連携し、一貫性のある指導案の作成ができる。
- ・テンプレート機能を活用し指導案作成の効率化が図れる。

登降園管理

- ・ＩＣカード等で登降園記録が自動管理され、登園・降園時間、出欠管理を行う。
- ・登降園の時間の記録・自動集計ができる。

新たな時代に向けたリカレント教育推進事業

人生100年時代に向け、市民一人一人が生涯にわたって生きがいをもち、心豊かな人生を送れるよう、キャリア形成や子育て中、子育て後の就労のため仕事で求められるスキル等を学びリカレント教育や誰一人取り残さないデジタル社会実現に向けた学習機会を提供するとともに学習環境の整備を図る。



ITキャリアアップ講座
(リカレント教育)

令和4年度実施予定講座

かんたんスマホ講座	基本的な使い方の取得からアプリの追加など使いこなしができるまでの基礎・応用・活用を段階的に学ぶ	20人程度	10回コース
ITキャリアアップ講座	仕事に役立つ新たな知識やスキルなどを専門的に学ぶ	20人程度	12回コース
キャッシュレス講座	キャッシュレスの仕組みや種類、メリット・デメリットなどについて学ぶ	40人程度	1回
はじめてのスマホ講座	購入後の設定や基本操作を学ぶ超初心者向け講座	15人程度	3回コース